

Ⅱ 『高専用教材』の昭和59年度実施状況について

『高専用教材』は、放送教育開発センターが「放送を利用して行う教育の内容，方法等について研究及び開発」の一環として，また，国立大学等の教員及び研究者との共同研究を踏まえて実施する『教材』の作成に係る研究開発事業であり，国立高等専門学校協会と連携協力して，高等専門学校で共通利用が可能な教材の作成を目指すものである。

昭和59年度実施概要

教材の研究開発に関する企画委員会を発足させ，教材作成のための諸準備を行った。

1. 企画委員会の発足

高等専門学校は，独特の教育課程で実践的な教育を実施している面から，ビデオ・オーディオ教材に対しても各種のニーズが有り，特に側面的支援の必要な教科をビデオ・オーディオ教材化したらどうかを考慮されている。

これをうけて，本センターと国立高等専門学校協会が連携協力することにより，具体的な教材作成が可能となり，これらのニーズに応えるため，本研究開発事業の実施要領を定めて，研究開発に関する基本的事項を審議する「企画委員会」を発足させ，特に，教科としての確立に遅れがみられ，一般に教師が不足している『生物』をビデオ教材化する観点からいろいろな検討を行うとともに，共通的に，かつ，幅広く利用できる教材の作成を行うための検討・審議も同時に行われた。

昭和59年度は，国立高等専門学校協会の教育課程等委員会と連携協力して教材の有効な利用を目指すとともに，各高専に

において共通利用を可能にすること等を考慮して、全国各地区から委員を選出し企画委員会を構成した。

阿部 美哉（放送教育開発センター 教授）
梅津 英彦（仙台電波工業高等専門学校 教授）
河野 晋（木更津工業高等専門学校 教授）
小島 栄樹（函館工業高等専門学校 教授）
笹本 忠（東京工業高等専門学校 助教授）
四方 道人（放送教育開発センター 助教授）
鈴木 崑生（放送教育開発センター 助教授）
高木 清（高知工業高等専門学校 助教授）
谷岡 守（津山工業高等専門学校 教授）
宮本止戈雄（奈良工業高等専門学校 助教授）
○平野富士夫（大分工業高等専門学校 校長）
＊三谷 裕康（高知工業高等専門学校 校長）
横川 正（富山商船高等専門学校 助教授）
＊委員長 ○副委員長 50音順

2 今後のとりすすめ

今後のとりすすめ方としては、昭和59年度実施された企画委員会において審議された内容を踏まえて、「生物」という科目を、渡辺格慶応義塾大学名誉教授・北里大学教授を作成担当者として、ビデオ教材を作成する。

この際に注意しなければならないこととして、「生物」という科目は自然科学系の科目であるため、教材の内容構成上、実験実習の必要性が生じたり、これを補うため教材としてのパッケージ性の問題が生ずる。

このため、昭和60年度においては、焦眉の課題ないし題材に焦点を絞り試作品を制作し、この試作品を高専の教育現場に

において試用，プリテスト等を実施して，教材として利用価値が高いものの制作への足掛りを目指すこととしている。

昭和59年度年間行事表

- 59. 6.28 センター視察（国専協 教育課程等委員会）
- 8.20 研究開発打合せ
- 12.20～12.21 企画委員会
- 60. 1.31 第2回企画委員会
- 2.20 第3回企画委員会

なお，昭和59年12月20日，21日に開催された企画委員会において行った講演「現代の生物学について」を参考として掲載する。

（文責 大澤純夫）